

★ まちのわだい ★

全国・九州大会出場選手を紹介します

平成21年度 第33回全国高等学校 ハンドボール選抜大会（春高）

3月25日（木）から岩手県花巻市で開催された第33回全国高等学校ハンドボール選抜大会に、九州高校新人大会で3位に入賞し出場権を獲得された、熊本国府高校の西山徹さん（2年・今）が会場されました。



▲シュートを放つ西山選手



▲健闘を誓う有田慶吾さんと部員のみなさん

第17回 中学校親善サッカー北九州大会

3月27日（土）、28日（日）に北九州市で開催された第17回中学校親善サッカー北九州大会に竜北中サッカー部が出場されました。

大会に先立ち3月26日（金）に役場で行われた激励会では、サッカー部を代表してキャプテンの有田慶吾さん（西野津）が「補助金をいただきありがとうございます。九州大会では精一杯がんばります。」と力強い抱負を述べられ健闘を誓いました。

第5回 子ども相撲大会

3月27日（土）氷川町少年自然の森相撲場において、氷川町子ども会育成連絡協議会主催による「第5回子ども相撲大会」が開催されました。

今年も熊本農業高校相撲部に協力いただき、賑やかな大会となりました。

アトラクション「赤ちゃん土俵入り」では、9名の参加があり、大きい相撲取りに抱かれて泣く子もいて、会場を賑わせました。

大会は、各地区の子ども会から団体戦に6地区・個人戦に40名の参加がありました。開会式では、前年度団体戦優勝の町子ども会から河野風真君（6年生）が元気良く選手宣誓を行いました。

団体戦では、下宮子ども会が3年ぶり2度目の優勝を果たしました。

なお、大会の結果は次のとおりです。



▲団体戦優勝の下宮子ども会

[団体戦]		[個人の部 1位]	
優勝	下宮子ども会	3年生の部	河野 佐知（町）
準優勝	上有佐子ども会	4年生の部	吉永 峻（上有佐）
		5年生の部	岡本 光（下宮）
		6年生の部	吉永 知弘（上有佐）



町民文芸

短歌

頑張れと運動の良さ知りてより
グランド歩く根気に負けず
上高塚 桑原ゆき代

今年またそめいよしのは咲きにけり
退職記念思ひ出の花
吉本 高橋 澄子

安来節習う師匠は九十才
桜二分咲き宅は暖か
西野津 古崎スエノ

鶯の美声聞きつつ床の中
幸福なりと両手合はせり
早尾 橋本ヨシエ

ちぎり残した金柑の実
ひよどり啄む春に遊ぶ
西野津 古崎 栄子

女房は笑うが吾は唐芋の
素朴な旨さこよなく愛す
吉本 橋村 正之

若葉風真向に浴び免疫を
アップのウォーク里山分ける
町 福田 一郎

新緑の芽ぶきの中に春立ちて
主と共に今を永に
南鹿野 尾崎 京子

揚雲雀声を限りに宙つなく
下界はいまだ薄闇の中
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

球打てばグラウンドゴルフ春の風
桜舞散るプレイ会場
下高塚 竹中 力

俳句

古草の轍に生きつ伸びにけり
上高塚 桑原ゆき代

足音に群れ立つ雀げんげ畑
吉本 高橋 澄子

花吹風老人施設訪問す
西野津 古崎スエノ

寂し成る孫旅立ぬ花冷えの朝
西野津 古崎 栄子

雲切れて輝きつよく山笑う
町 福田 一郎

たらの芽の産毛まといて春を待つ
南鹿野 尾崎 京子

校庭に遊ぶ子あふれ桜咲く
町 香山菊童子

春泥を越えて受難の道を行く
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

霧島の古へ辿る紅つつし
桜ヶ丘 吉田 照子

水ぬるむ川面にはしる稚魚の群れ
町 田中 澄子

白牡丹一輪にして大いなる
桜ヶ丘 宮崎トシ子

村はづれ記念碑ありて落ち椿
下高塚 竹中 力

たべる人

吉本 橋村 正之

その日の献立その調理
一年三百六十五日
それを毎日続ける
すごい事だよ女房殿

黙って食べてはいるけれど
伝わる愛情嬉しいね
心の中で礼言って
味わってるぜしつかりと

今夜は何が出るのかな
期待で鳴いてる腹の虫
さてと食卓見るならば
嫌いな品が皿の上

栄養バランス考えた
かみさん苦心の料理だぞ
なんと少しでも胃袋に
送り込まねば相済まぬ

